

<対策のポイント>

内水面漁業・養殖業の振興のため、**内水面漁場を有効かつ効率的に活用する体制の検討**と、ウナギ等の**内水面資源の回復と適切な管理体制の構築**を推進します。

<政策目標>

主な栽培対象魚種及び養殖業等の生産量の増加（1,739千トン〔平成34年度まで〕）

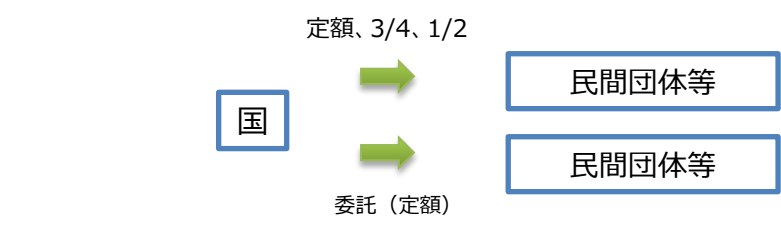
<事業の内容>

<事業イメージ>

1. やるぞ内水面漁業活性化事業
- 広域的な内水面漁場管理や内水面漁業活性化の方策を総合的に検討するとともに、**内水面漁場管理のモデルとなる先進的な取組**を支援します。
2. 内水面水産資源被害対策事業
- 内水面漁業者が行う**カワウ・外来魚駆除活動等**を支援します。また、**ドローン等を活用した低コスト・効率的な内水面水産被害防止のための技術開発**を推進します。
3. ウナギ等資源回復推進事業
- 河川における資源回復を図るため、内水面漁業者が行う**生息環境改善の取組**を支援します。また、河川における**効果的な放流手法の検討等**を実施します。

○ 持続可能な鰻養殖を推進するため、養鰻業者等が行う**資源管理のための取組**を支援します。また、**シラスウナギのトレーサビリティ手法の確立**を図るとともに、**ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証**を行います。

<事業の流れ>



1. 内水面漁場の効率的な管理手法確立と全国展開

実際の監視業務風景

実際の監視画面

6月21日九頭竜川（勝山市漁協）監視画面

参考：ICTを活用した漁場監視の例

2. 内水面漁場の有効活用を阻害する要因の低減

カワウの駆除活動

オオクチバスの駆除活動

ドローンによるカワウ対策技術開発

3. ウナギ等内水面資源の緊急的な回復

生息環境改善（石倉増殖礁）

効果的な放流手法の検討等

シラスウナギトレーサビリティ確立

シラスウナギ人工種苗生産

内水面水産資源の回復・安定供給の実現

【お問い合わせ先】 水産庁栽培養殖課（03-3502-8489）
水産庁研究指導課（03-3502-0358）※

※ ウナギ種苗の商業化に向けた大量生産システムの実証のみ